

※一部非公開

令和4年度入学試験問題（帰国生徒特別選抜）

## 小 論 文

人文社会学部 人間社会学科

### 注 意 事 項

1. 受験番号を解答用紙の所定の欄に記入すること。
2. 解答は、必ず解答用紙に記入すること。
3. 解答用紙の他に、下書き用紙を配付するので、取り違えないよう注意すること。
4. 解答時間は、120分である。
5. 横書き、鉛筆（シャープペンシルを含む）書きにすること。

## 問題

以下の文章の内容をふまえた上で、ポスト・コロナ時代の社会においてどのような「つながり」が必要となるのか、そしてそのような「つながり」のためにあなた自身がどのような役割を担っていくのか、あなた自身の考えを1000字以上1200字以内で述べなさい。

**非公開**

# 非公開

(山田孝子編著、『人のつながりと世界の行方—コロナ後の縁を考える』、英明企画編集株式会社、2020年、171～174ページ、抜粋・一部改変)

## 令和4年度入学試験問題（帰国生徒特別選抜）

# 小論文

### 人文社会学部 人間社会学科

#### 出題の意図

人間社会学科は、人間を中心に据えながら、専門的な知と幅広い学際的知を基に、複雑化した社会において個人の尊厳を保ち、誰もが自由・公平に、また安心・安全に生きることが出来る社会を形成できる人材を養成することを目指す。

特に帰国生徒特別選抜においては、人間社会学科がアドミッション・ポリシーで求めている諸能力のうち、思考力・判断力・表現力を評価の対象とする。

本問で使用するのは、ポスト・コロナ時代において安全かつ豊かに生きる方策を世界各地の「つながり」をめぐる諸相の比較から探る『人のつながりと世界の行方—コロナ後の縁を考える』という著作の一部である。使用した文書においては、さまざまな生活様式の変化が起こったとしても、家族を超える「つながり」が社会において求められることが記されている。

問では、筆者の意見を正しく理解した上で、ポスト・コロナ時代の社会において必要とされる「つながり」について、その実現のために自分自身が担う役割を含めて論理的に思考し記述する力が試される。